

# 愛川ボラ連だより

平成23年10月8日ボラ連会員33名で

第6号 平成24年2月発行  
愛川町ボランティア連絡協議会  
愛川町角田257番地の1  
(町社会福祉協議会内)  
☎ 046-285-2111



今年度のボラ連研修視察は、10月8日に行われました。視察地である県立歴史博物館は、かつての横浜の正金銀行(貿易のための金融を目的として設立された銀行)であり、多くの生糸輸出業者が入り出した建物でした。館内一階は特別展、二階は近世から現在まで、三階は古代から中世までの常設展示がされています。私達は、ボランティアガイドの方に案内をいただきました。

二階に入ると「横浜商家紅毛人書認之図」や「横浜渡来亜墨利加商人旅行之図」など多数の浮世絵が目飛び込んできました。また、幕末の横浜から輸出に使われた茶箱には、宣伝用に錦絵が貼られ、それは見事な多色刷り木版画で、心を惹かれました。当時の西洋人たちが驚いたことでしょう。そのほか、かつての町の様子を表す模型や写真がありました。現在の根岸線を



国の重要文化財・史跡にも指定されています

## 県立歴史博物館に研修視察

味彩会  
熊坂美恵子

## 秋晴れのもと ふれあい広場開催

かえでの会 八木民子

9月10日(土)平成23年度ふれあい広場が、田代運動公園を会場に開催されました。今年には社会福祉協議会が法人化されてから30周年の記念イベントでもあります。

橋本利男社会福祉協議会会長は、東日本大震災など大きな自然災害が発生したこの時期に開催された今回のふれあい広場を「地域の絆を考えるきっかけにしたい」と話されました。

スポーツ飲料・麦茶など飲み物のテントが、交流ゲーム会場のグラウンド内にも設置され、参加者はのどを潤していました。また、昨年からは、暑さ対策のため保冷剤を配布しており、顔に当てたり、ハンカチにくるんで首に巻き付けたりと、活用されていました。



何を食べてようかなあ〜



晴天に恵まれ、さらさらと日差しは強かったですが、川からわたってくる風は涼しくさわやかな心地がしました。例年たくさんのご参加をいただき、自動車関連企業労働組合の方々は、電力規制の影響で土日が勤務にあたり、企業がご理解ご協力をいただき、今年も例年通りに参加していただくことが出来ました。ありがとうございました。

## 表彰者紹介

- 10月20日(木)、平成23年度神奈川県社会福祉大会で表彰されました。(敬称略)  
神奈川県社会福祉協議会会長感謝  
ボランティア功労者
- (味彩会) 関根 和子
- (かえでの会) 土屋 富子
- 10月15日(土)、平成23年度愛川町社会福祉大会で表彰されました。(敬称略)
- 愛川町表彰  
福祉功労表彰  
(味彩会) 小池フミ子
- (かえでの会) 野田 洋子
- 愛川町社会福祉協議会表彰  
善行者表彰  
(味彩会)
- (かえでの会) 甘利 弘子
- (あしボ) (あしボ) 海藤 栄子
- 大橋 清子
- 佐藤 淳子
- 矢後 郁夫

編集後記  
激動の平成23年は、「絆」の文字で年を越しました。人と人との心の繋がりを強く感じられた年にふさわしい一文字であると思います。復興ボランティアに参加して、「自分でもやれることがあるのだ!」ということに気付いた人が激増したことをニュースで知り、一員として大変喜んでいきます。今年からは、さらにその繋がりを継続しつつ、まだ気付いていない人達に絆の輪を広げていくことも大切なことだと思っています。 AIT



# マジック愛川クラブ

**仲  
間  
募  
集**

☆例会日時 毎月1・3土曜日 午前9時30分～12時(原則的に)

☆会 場 愛川町文化会館 1階リハーサル室

☆講 師 県央マジック連盟顧問

海老名マジッククラブ講師 落合 重幸 氏

☆会 費 年会費 2,000円 例会費 1,000円

☆申し込み マジック愛川クラブ会長 井上 桂 ☎・FAX 285-0352

副会長 阿部 久蔵 ☎・FAX 285-1879

マジック愛川クラブは、昭和59年1月に設立されたクラブで、会員数18名。愛川町文化協会、愛川町ボランティア連絡協議会、県央マジック連盟に加盟しています。

活動は、毎月2回の例会とボランティア活動が主なものです。ボランティア活動は、子ども会、自治会、福祉団体等の行事などで、マジックを披露して喜ばれています。昨年入会した新人から40年のベテランまで様々です。例会も和やかで、講師の指導も解りやすく、会員がお互いに教え合ったり、アイデアを出し合ったり楽しく活動しています。



子ども会、自治会、  
福祉団体の行事で  
腕前を披露しています



大きな舞台としては、毎年行われる「愛川町ふるさとまつり」での文化芸能発表会で、マジックを披露しています。また、県央マジック連盟主催マジックフェスティバルでは、平成22年5月30日に行われた第14回マジックフェスティバルまで、連続出演し多くの会員がその腕を披露しています。そして、平成24年6月10日(日)には、第15回マジックフェスティバルが予定されており、出演するための練習に励んでいます。是非、ご来場ください。

練習内容は、新聞紙、ティッシュペーパー、ロープを使ったものから、シルク、コイン、カードなどを使ったマジック。上達すれば、大きな道具を使ったイリュージョンマジックと、見ている人をアツとおどろかせるようなマジックができます。興味のある方は、いつでもどうぞ。

**連絡先：マジック愛川クラブ 285-0352(会長 井上 桂)**

# 愛川町録音ボランティアグループ 「かえでの会」

ボラ連  
仲間募集  
かえでの会

連絡先 社会福祉法人 愛川町社会福祉協議会 ☎285-2111(内線 3793)  
愛川町録音ボランティアグループ かえでの会 会長 別府 和子

## 「かえでの会」主な活動

### 1. 録音テープ(CD)の作成と貸出し

#### (1) 定期刊行物

「広報あいかわ」をはじめ、「お茶の間通信」「社協あいかわ」など町内の身近な情報を録音してお届けします。現在 10 種類を発行しています。

#### (2) プライベートサービス

大河ドラマの原作本やいま話題の本など読者からのリクエストにお応えし、音声訳します。

### 2. 読者との交流会

春と秋、年に2回の楽しい集いです。声なじみの会員にご家族も安心して送り出させていただきます。

### 3. 会員研修

テープからCDへ。編集機器も時代とともに変化しています。研修を通じて会員も負けずに進化し続けます。



視覚障がい者(読者)に、情報とまごころをお届けして30年。6月17日には町福祉センターにおいて、町長はじめ来賓の皆さま、読者の皆さまとご一緒に30周年のお祝い会を開催いたしました。式典にむけて「30年のあゆみ」を発行し、会への思いや活動記録を記念冊子としてまとめました。

## 福祉授業に協力



### 点字ブロック説明



町社協を通して、小学校への人権教育講師依頼があり、平成21年度から協力させて頂いています。

内容は、視覚障がい者の理解と誘導法の実体験です。

菅原小学校は、毎年3年生がこれを学習します。23年度は、田代小学校4年生と6年生にも体験して頂きました。点字ブロックの説明やバリアフリー商品等も紹介しています。

生徒たちは真面目に取り組み、「怖かった」「廊下が長く感じられた」「眼の不自由な人がどれだけ大変か実感できた」等々、さまざまな感想が寄せられます。

少しでも、視覚障がい者を理解し福祉教育の充実なることを願いながら活動を続けます。

### 誘導法の実体験



### 講師プロフィール 大畠政義氏

「初めくつ屋、次にメガネ屋、今ボランティア屋」2009年厚生労働省事業「働きやすい社会をつくる休暇制度普及事業」全国47都道府県に於いて「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)セミナー」の企画・運営を行う。内閣府、東京労働局等にて「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」の講演や企業、区市町村にて「地域デビュー」の講演を行う。

# 神奈川県ボランティア連絡協議会 県央・西湘ブロック合同研修交流会

★日時 平成23年8月18日(木) 13時30分～15時30分  
★場所 愛川町福祉センター 3階会議室  
★内容 講演会 テーマ「ふみだそう…さらなる一歩」  
『今日はどこにいこうかな～』  
★講師 公益財団法人さわやか福祉財団  
人間力再生プロジェクトリーダー 大畠政義先生



楽しく和気あいあいとした会場雰囲気



井上ボラ連会長挨拶



各ボランティア団体の掲示



今回の研修  
テーマ内容は  
いかがでしたか

・非常に良かった 20  
・良かった 7  
・良くなかった 0  
(回収27)



## 今回の研修テーマ 内容はいかがでしたか



- 大畠先生のお話が楽しかった。ゲームを取り入れると心が和み、人と人が仲良くなれると思いました。お話から、ボランティア活動は貴重だと心から感じました。
- 人間力再生。自分の時間は、たくさんあって人との関わりの中で自分が生かされ、いきいきと生きることが大切だと感じました。
- これからの人生を生きていくにあたり、大変参考になりました。ボランティアを通して仲間づくりをしていきたいです。
- おもしろおかしく現実に沿ったボランティアのあり方を話してくださいました。
- 有意義な内容でした。今後の生き方の指標ができました。
- 話し方がとても良かったです。新しい言葉を分かり良くまとめてくださりました。これからの私の人生に計画とゆとりを考えるチャンスになります。



## 愛川町にお越しいただいた 印象、感想等をお聞きしました



- ボランティア活動しやすい町の印象を受けました。(海老名市)
- ゆつたりとした雰囲気、あたたかいイメージです。(海老名市)
- 共有、協働のテーマが素晴らしい。町の施設が一カ所にかたまつて便利。(厚木市)
- 行政関連、病院等が集まっている、便利だと思います。宮ヶ瀬へ行く途中で良く通過しているが、店も良く並んでおり、にぎわっている感があります。(伊勢原市)
- 緑が多く美しいと思いました。ゆつくりと訪れたいと思いました。(大和市)
- 自然がいっぱい、いつも遊びに来ています。また、今日は会場に入ってきた時、皆さんにご挨拶いただきとても良い気分でした。(座間市)

## 「開催地会長あいさつ」

愛川町ボランティア連絡協議会  
会長 井上 桂

今回は、地元開催ということで、愛川町ボランティア連絡協議会が会場運営などのお手伝いをし、愛川町からも多くの会員が参加しました。

研修会講師には、公益財団法人さわやか福祉財団の人間力再生プロジェクトリーダー大畠政義先生をお招きして、有意義なお話を伺いました。

内容は、「ふみだそう…さらなる一歩」『今日はどこにいこうかな～』をテーマに、先生の経験をもとに大変分かりやすく、笑いも交えながら、私たちのこれからの生きる指針、ボランティア活動をする心構えなどお話いただきました。

## 「研修会に参加して」

マジック愛川クラブ  
成瀬 和治

真夏の暑い8月18日に神奈川県ボランティア連絡協議会主催の県央・西湘合同ブロック研修交流会が当愛川町で開催されました。

厚木市、大和市、海老名市、伊勢原市、座間市、NPO法人相模原、箱根町、藤沢市の各ボランティアの方々48名の参加のもと福祉センターで行われました。

サラリーマン生活40年間勤務した時間が9万3600時間、これから先65歳～85歳まで生きたら10万時間。その10万時間をどの様に使うかが問題である。

こんな話題から大畠先生の話が始まりました。リタイヤ後、夫婦一緒に時間が増え「嬉しい」という人は男性で48.4%、女性で27.1%、夫婦の会話が平均30分以下という統計にはびっくりしました。

今後は、「仲間づくり」が大切で共通の目的、生き方、心地良い関係を保つ必要がある事を強調されておりました。

最後に「感謝」の気持ちをもって「ありがとう、こころこめて」と置きかえ作られた文字は大変良かったと思います。



「ありがとう、こころこめて」  
と置きかえ作られた文字

(研修会資料より)